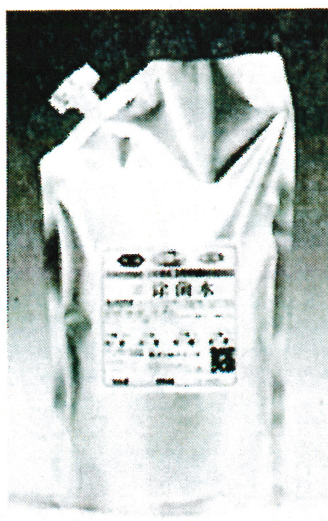


次亜塩素酸水

ノロやインフルに消毒効果

福医大研究グループが証明

福島医大医学部微生物学講座の研究グループは、次亜塩素酸水がノロウイルスやインフルエンザウイルスなどに対する消毒効果があると証明した。次亜塩素酸水は消毒薬として一般には普及しておらず、研究成果が広まれば、商品化への動きにつながる可能性があるとしている。



次亜塩素酸水のイメージ

新型コロナにも有効か

次亜塩素酸水は、塩素系漂白剤などとして一般に普及している次亜塩素酸ナトリウム水とは異なる。塩素が揮発して水と酸素だけが残ってしまいやすいため商品化が難しい一

方、次亜塩素酸ナトリウム水と比べて手洗いなどに使用しても手指が荒れにくい特長があるという。

研究グループは①次亜塩素酸水②次亜塩素酸ナトリウム水③エタ

ノール（アルコール）の消毒効果を比較した。次亜塩素酸水は次

亜塩素酸ナトリウム水と同様に、多くのウイルスや細菌を消毒できると分かった。エタノールはノロウイルスの消毒効果が比較的低いとみられる一方、次亜塩素酸水はノロウイル

スにも高い消毒効果が確認された。

同講座の錫谷達夫教授（左）は「さまざまなウイルスの消毒に使用できるため、ウイルスによって消毒液を使い分けせずに済むことが裏付けられた」と意義を語る。新型コロナウイルスの消毒に

も効果があると思われている。

福島医大は六日、さまざまな研究内容をまとめた「研究シーズ集2021―2022」の発行を発表。次亜塩素酸水の消毒効果に関する研究も掲載されている。